



青森河川国道ニュース

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
 地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

▲事務所
 twitter

奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト実施

～まもりたい、奥入瀬の音風景～



▲「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」期間中の国道102号奥入瀬溪流区間の様子

「奥入瀬溪流」は日本屈指の景勝地として、国の特別名勝・天然記念物に指定されていますが、10月の紅葉シーズンには溪流区間に多くの観光客が大型バスやマイカーを利用し観光に訪れるため、大渋滞が発生しています。

この結果、奥入瀬溪流の自然環境に負担がかかっているだけでなく、溪流のせせらぎ

や鳥のさえずりなどの音の魅力も薄れている状況となっています。

このような状況から奥入瀬溪流の自然環境や景観を守るべく、当事務所では毎年8～9月に自発的な交通緩和による「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」を、青森県では毎年10月に交通規制による「エコツーリズムプロジェクト」を実施してきましたが、今年度の「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」は、青森県実施「エコツーリズムプロジェクト」を連続した日程で、10月24日(月)～26日(水)に実施しました。



イベントでは、シャトルバスの運行や、高校生・NPO法人におけるボランティアガイドツアー、イベント参加者への割引特典を実施し、多くの来訪者にご参加頂きました。ガイドツアーの参加者からは「落ち葉から良い香りがした。自動車の排気ガスから奥入瀬溪流の自然を守ってほしい」との好意的な意見を頂いています。



▲シャトルバス



▲高校生ボランティアガイドツアー



▲ボランティアガイドツアー: 落葉の香りを嗅ぐ様子



▲ボランティアガイドツアー: 奥入瀬溪流の秋

前回(令和元年)に実施した前回のせせらぎ体感プロジェクトでは、シャトルバスの乗降者数(延べ)の1日平均は426人でしたが、今年度は852人と前回のおよそ2倍となっており、今回の紅葉シーズンの方が多くの方にご参加されていることを確認しました。

今年度の奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト期間中のバス及びツアー参加者数

日付	10/24(月)	10/25(火)	10/26(水)	合計	一日平均
シャトルバスチケット購入者数 [人]	503	293	453	1,249	416
シャトルバス乗降者数(延べ) [人]	1,008	619	930	2,557	852
ボランティアガイドツアー参加者数 [人]	42	28	24	94	31

今回実施された、イベントをきっかけに、より多くの方が「奥入瀬溪流が後世に守り伝えていかなければならない国民共有の財産」として、更に関心を持っていただければ、幸いです。